

特集「コロナに打ち克つ経営の為に大事な事とは」(第1回)

「偉大な経営者から学ぶ不況克服の為に組織強化と経営」

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、1929年の世界恐慌級か？リーマン級か？とも言われています。非常事態宣言も5月末まで延長となり、益々不安と危機感増すだけの現状で「コロナが終息した後、これまでと同じ経営では生き残り出来ない多くの経営者・経営幹部が危機感を持っていると思います。「事業の存続・持続」の為に「経営者・経営幹部が何をすべきか」が最も大事だと思います。

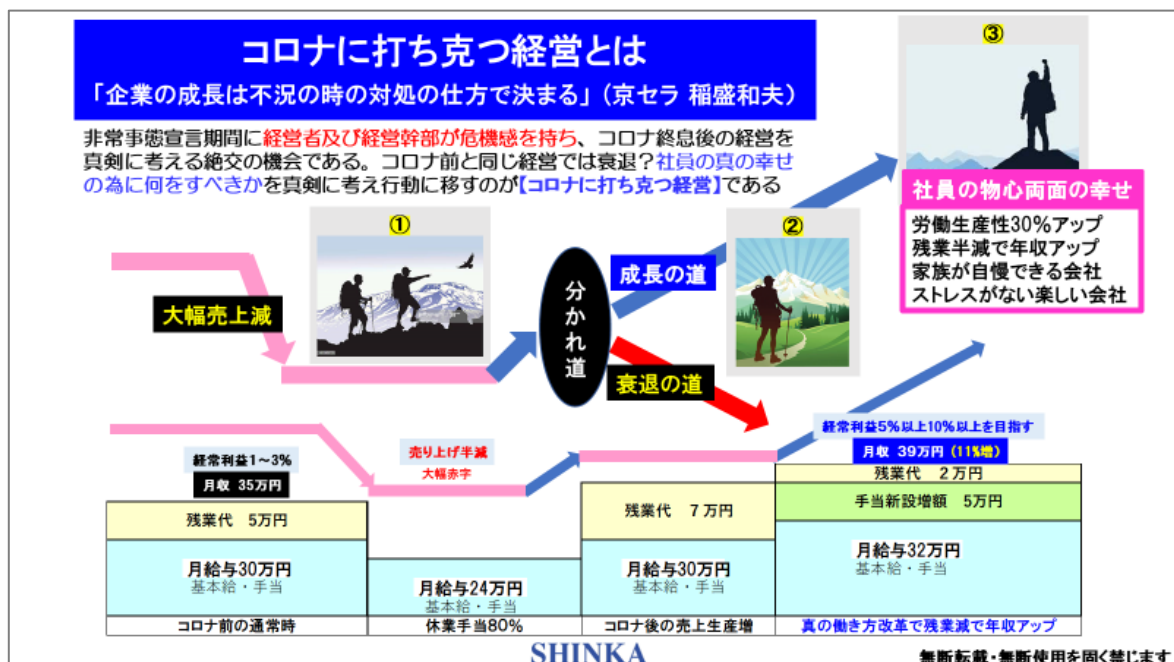
今回は第1回として「偉大な経営者から学ぶ不況克服の為に経営」をご紹介します。かつてない不況からかつてない革新を生み出す為に具体的にどのように考えるべきかをイメージ図及び考え方を示します。第1回は以下の内容を含んでおり、松下幸之助氏の「不況克服の心得十カ条」もご紹介いたします。

1. 企業の成長は不況の時の対処の仕方で行く。
2. 緊急事態宣言の自宅待機時に経営者・経営幹部がすべき事とは
3. 偉人から学ぶ不況克服の教えとは？

記

1. 企業の成長は不況の時の対処の仕方で行く。

- 稲盛氏も松下幸之助氏も不況こそ企業成長の絶好の機会であり「企業の成長は不況の時の対処の仕方で行く。」と稲盛氏は断言しています。
- 非常事態宣言以降1カ月が経過しましたが、自宅待機でテレワークの間、コロナ終息後の経営及び出口戦略等をどうするかを各々で真剣に考え、経営幹部以上で議論を始めているでしょうか？
- 大幅に落ち込んだ売上はコロナ終息後ある程度回復するものの、これまでの経営の延長では利益も伸びず労働生産性も上がらない。その為、給与も下がる一方になることも考えられます。
- どのような会社になりたいか強く思い、大幅な経営革新する為に下記のような「企業成長のイメージ」を描く必要があると考えます。何も経営革新しなければ衰退の道に進むこともありえます。



※この図はメルマガ本文の「イメージ図」より、拡大してご覧いただけます

2. 緊急事態宣言の自宅待機時に経営者・経営幹部がすべき事とは ― 危機感を持つかどうか

- 幸之助氏の言葉「かつてない不況からかつてない革新を生む」という名言のように、この「新型コロナウイルス感染拡大の影響」で予想もつかない大不況が来る困難の時に、経営者・経営幹部が一体となり企業成長の道を選ぶか衰退の道を選ぶかの分かれ道である事を理解願いたい。
- 非常事態宣言下においてどのような不況が押し寄せるのか？がわからなく、又何をすべきかがわからない状況が現状かもしれません。その中での経営者の「こうしよう。この方向に向かおう」との指示も漠然として、不安そうな経営幹部がいるのが右図のような状況かもしれません。
- 何をどうすべきかをわからなく「右往左往」しているときに分かれ道にたどり着き、衰退の道（衰退しなくても更に厳しくなる事業環境で収益性は低下し社員の給与が下がる）を選ぶか、経営陣・経営幹部が本気に真剣に経営を含め革新・企業改革をする企業成長の道を選ぶかを要求される。既に、非常事態宣言以降 1 カ月が経過したが、自宅待機でテレワークの間、経営幹部以上で議論を始めていない企業が多いのではないかと思います。真剣に議論すべき「出口戦略」は遅くともこの6月末までに構築する必要があると考えます。「出口戦略」が見えると右図のように光が見えていきます。
- 最も大事な事は、どの頂上を目指すかであり、コロナ終息後の3年後、5年後のあるべき姿をどのように共有するかが大事です。又どのようにそのあるべき姿の実現の為に、どのようにに進めるかが、又どのような「出口戦略」を構築するかが大きなポイントです。シンカでは大幅に労働生産性及び収益性増とした成功事例と経験及びノウハウがあり、今後のメールマガジンで紹介するだけでなく、具体的手法をセミナー開催又は個別相談等で伝えていきます。

3. 偉人から学ぶ不況克服の教え

- 日本には、絶体絶命の危機・困難及び不況を“好機”ととらえ勇猛果敢に乗り越え、そのたびに会社を大きく飛躍させてきた偉大な経営者が2人います。一人が松下幸之助氏であり、もう一人は稲盛和夫氏です。二人の偉大な経営者が口を揃えて、下記のように「不況時こそどのように経営を変革するかが大事」だと教えています。
 - ① 企業の成長は不況の時の対処の仕方で行き渡る。京セラが同業他社を抜いたのは不況のときである。（京セラ 稲盛和夫）
 - ② 市場の変動を言い訳にするな（京セラ 稲盛和夫）
 - ③ 景気の悪い年は、ものを考えさせられる年。だから心の改革が行なわれ、将来の発展の基礎になる。（松下幸之助）
 - ④ 不況の時こそ会社発展の好機である。商売は考え方一つ、やり方一つでどうにでもなるものだ。（松下幸之助）
 - ⑤ かつてない困難、かつてない不況からかつてない革新が生まれる。それは技術における革新、製品開発、販売、宣伝、営業における革新である。そしてかつてない革新からはかつてない飛躍が生まれる。（松下幸之助）
- 松下幸之助氏は下記のような大事な教えとして、「不況克服の心得十カ条」があります。紹介したいと思います。

- 第一条 「不況またよし」と考える
- 第二条 原点に返って、志を堅持する
- 第三条 再点検して、自らの力を正しくつかむ
- 第四条 不退転の覚悟で取り組む
- 第五条 旧来の慣習、慣行、常識を打ち破る
- 第六条 時には一服して待つ
- 第七条 人材育成に力を注ぐ
- 第八条 「責任は我にあり」の自覚を
- 第九条 打てば響く組織づくりを進める
- 第十条 日頃からなすべきをなしておく

- 先ずは見出しだけでその大事な教えは何なのかを考えて頂きたいと思います。
- 稲盛氏、幸之助氏等の教え等を学ぶ「偉人の教えから学ぶコロナに打ち克つ経営」のセミナーを 5 月 20 日以降に開催の予定です。
- セミナーで、1 条ごとに具体的内容及び解説・コメントも含め、不況克服の 10 か条等を真剣に考えて頂ければと思います。

第 1 回目はこの辺で終わります。

「コロナに打ち克つ経営（第 2 回）」も楽しみにしてください。

皆さんからの率直なご意見及び質問等を是非頂ければと思います。セミナーへのご興味（参加したいとの意思表示も含め）、又どのようなセミナーを希望するか等のコメント大歓迎です。

秋吉・新井 shinka-information1995@shinka.com までお願いします。

以上